

6 / 1 2 「技術者基礎能力向上研修（新人技術者向け）（第1回）」

■ 若手技術者が実務として必要な現場管理の基本知識を確認するとともに、管理手法等を学びました。



若手技術者が実務において活用できる施工の点検、段取り、管理手法等を習得しました。また、グループワーク形式で行うことにより、研修を通じて同世代の連帯感をより高めることができました。

- 1 日時 令和元年6月12日（水）
- 2 場所 建設ICT人材育成センター
（大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階）
- 3 対象者 岐阜県内の建設企業の社員で新人の技術者
- 4 参加者 14社 20名
- 5 内容

時間	研修内容	講師
9:30～10:00	（受付）	
10:00～12:00	「現場管理の基礎」 1) 信頼される現場技術者とは ・事例紹介および技術者の心構え 2) 基本知識習得（グループ演習） ・コンクリートの基本知識	株式会社 建設経営サービス （KKS）講師 中村 秀樹氏
12:00～13:00	（昼食）	
13:00～16:00	2) 基本知識習得（グループ演習） ・仮設工事の安全点検方法と労働安全衛生規則の関係 ・土質、地盤の基本知識 3) 施工技術力を身に付ける演習（グループディスカッション） ・グループで簡単な演習問題を行い、実務上の技術習得を学ぶ ※講師からコメントやアドバイスを行う	
16:00	閉講、アンケート記入	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 5ユニット（認定講習）

8 研修状況



講師
(株) 建設経営サービス (KKS) 中村 秀樹氏



“信頼される現場技術者とは”
これまでの施工事例を基に信頼される技術者の心構えを学びました。



“コンクリートの基本知識”
講義を受け、与えられた課題についてグループディスカッションを行い知識を深めました。



“仮設工事の安全点検方法と労働安全衛生規則”
実際に起こった事故事例を基に、安全点検のポイント等について学びました。



“土質、地盤の基本知識”
動画も交え、土砂崩れや法面崩壊などのメカニズムについて学びました。



“施工技術力を身に付ける演習”
施工の目の付け所について、グループディスカッションを行い知識を深めました。

9 受講者の感想

- ・現場の進め方について説明が分かりやすかった
- ・動画を利用しながらやっていた良かった
- ・模型を使った説明がわかりやすかった
- ・コンクリートの基礎知識は、とても役に立つと思った
- ・土質、クレーンの性質等について良く分かった
- ・色々な業種の人たちの意見を聞くことができて良かった
- ・グループでのミーティングにより知らない知識を得られたことが良かった
- ・新人技術者向けなら、実際の現場を見せるのも良いと思う

以上